

課題、評価のフィードバック

必要なフィードバックは授業中に行う。

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	導入	蛋白質が様々な生命現象に関わる重要な生体高分子であることを理解することができる。	
	第2回	タンパク質構造の基礎	タンパク質の一次構造、二次構造、高次構造について概説することができる。	C6-(2)-④-1 ア-C1-⑥-1 ア-C6-④-3
	第3回	核酸の基礎	DNA、RNAの高次構造を概説することができる。	C6-(2)-⑤-1 ア-C6-⑤-1
	第4回	酵素	酵素の構造について概説することができる。	
	第5回	DNAの複製・転写・翻訳	DNAの複製・転写・翻訳について構造化学的な観点から概説することができる。	ア-C1-⑦-1
	第6回	タンパク質のフォールディングと分解	タンパク質のフォールディングと分解について構造化学的な観点から概説することができる。	ア-C1-⑥-2
	第7回	膜タンパク質	膜タンパク質の構造について概説することができる。	
	第8回	シグナル伝達	シグナル伝達に関与するタンパク質の構造について概説できる。	ア-C1-⑦-1
	第9回	細胞骨格・輸送	細胞骨格・輸送に関与するタンパク質の構造について概説できる。	C6-(1)-③-1
	第10回	免疫・ウイルス	免疫・ウイルスに関与するタンパク質の構造について概説できる。	C8-(3)-③-1
	第11回	立体構造情報の利用	立体構造情報を利用したデータベースにういて概説できる。	C4-(1)-①-2 ア-C1-⑦-2
	第12回	構造解析法	生体高分子の構造解析法について概説できる。	C2-(4)-④-1 6ア-C1-⑤-1 ア-C2-⑤-1 ア-C2-⑦-1
	第13回			
	第14回			
	第15回			
	試験	実施しない		
授業の進め方	人数によってはスクール形式をとらない場合がある。			
授業外学習の指示	各自の理解度に応じて復習を行うこと。 (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	プリントを使用
参考書	なし
参考URLなど	なし
その他	薬剤師に求められる基本的な資質:(基礎的な科学力) アドバンスト:30% オリジナル:30%